

# Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MDE959  
 取付・取扱説明書

**AutoExe**  
 A New Driving Sensation

株式会社オートエクス

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8  
 TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクス ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輻に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ず一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

## 適合車種: デミオ (DE5FS/DE3FS) 2WD車

### 警告

- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されております。以上の事から車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は付属のクッションテープを干渉箇所に貼付するか、ボンネットの高さ調整を行って下さい。
- 一般公道等、歩行者や他の交通の妨げになる場所では作業しないで下さい。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でサイドブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。
- また、エンジンキーを抜きエンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業を行う場合は作業に適した服装で、必要に応じて保護手袋、保護眼鏡等を使用して下さい。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分にを行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。

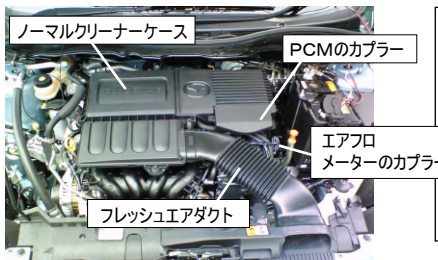
注意: 製品装着に伴い、インテークダクト内にラジエターリザーバタンクが位置するため、液量点検の際には一度製品の取外し作業が必要となります。

本製品は通常の降雨時走行では問題の無い設計としておりますが、台風や豪雨など大量の雨水が浸入するような環境下で走行する場合は、空気導入口をガムテープなどで塞ぐことをお奨めします。また、高圧洗車機などで洗車を行う際は、製品に直接水をかけない様ご注意ください。

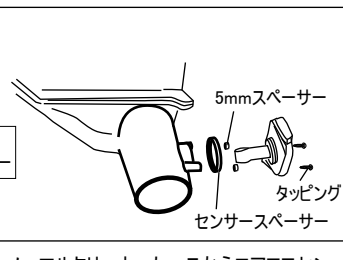
### PARTS LIST



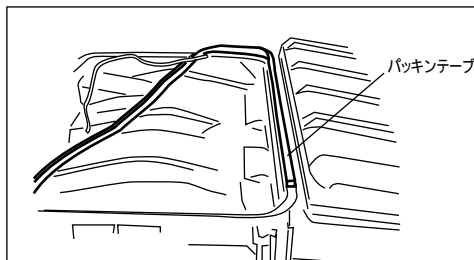
## ノーマルクリーナーの取り外し・取り付け準備



エアフロメーター及びPCM(コンピューター)のカブラーを外し、ノーマルクリーナーケースを取り外します。次にノーマルクリーナーケースからフレッシュエアダクトを取り外します。



ノーマルクリーナーケースからエアフロセンサーを取り外し、付属センサースペーサーを挟み、再度取り付けます。取り付けは付属のM4ステンタッピング、5mmスペーサーを使用します。

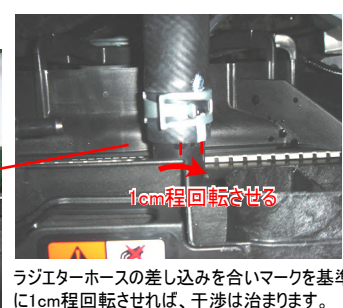
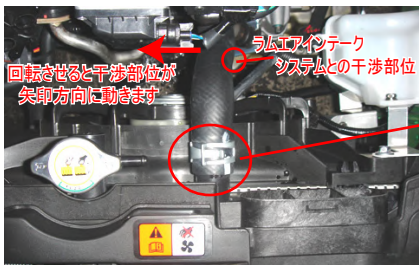


クリーナーケース内部をきれいに清掃し、ケース下側の水抜き穴4箇所を付属アルミテープで外側から貼り付け塞ぎます。テープは適当な大きさに4等分にカットしてご使用下さい。(脱脂してから貼り付けて下さい。)

純正エアクリーナーエレメントは使用しないため取り外し、ケース上下の当たり面(下側の溝)に付属のパッキンテープを貼り付けます。(テープは脱脂して貼り付けて下さい。)

ノーマルクリーナーケースを純正エアクリーナーエレメント無しで蓋をロックして再度、車輻に取り付けます。エアフロセンサー及びPCMのカブラーを元に戻します。

## 4AT車と5MT車の場合



ラジエターホースの差し込みを合いマークを基準に1cm程回転させれば、干渉は治まります。

## ラムエアインテークシステムの取り付け

注) 各作業は仮止めで行い、位置が決まってから増締めを行った方が容易です。



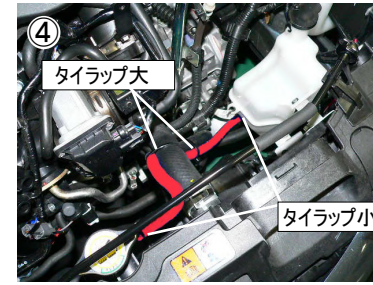
① フィルターケース内側からフィルターを入れます。



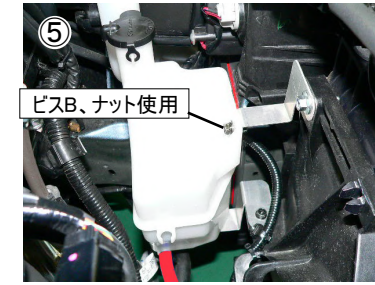
② フィルターを支えながらステー-0564Dをフィルタートップに宛がうように取り付けます。



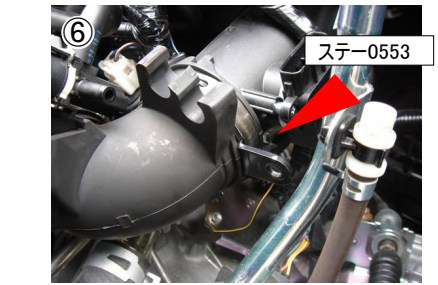
③ ラジエターリザーバタンクを移動させるためステーを取り付けます。



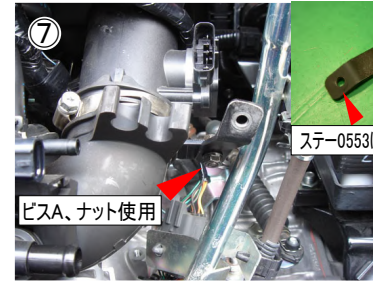
④ リザーバホースを付属のホースと取り替えます。※クーラント液が出るので注意してください。



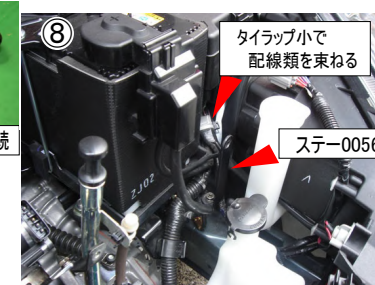
⑤ エアフロセンサー部のインテークホースのバンドを緩め、バンドとホースの間にステーを挟みます。



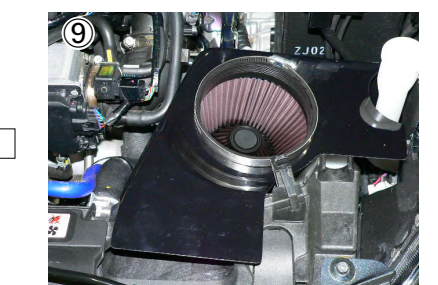
⑥ エアフロセンサー部のインテークホースのバンドを緩め、バンドとホースの間にステーを挟みます。



⑦ バッテリートレイ下側にあるハーネスクランプをブラケットから取外し、その穴を利用して、ステー-0056Bを取り付けます。



⑧ チャンバーケース接続部の穴位置にマーキングし、ノーマルクリーナーケースに3mmの穴開加工をします。穴開加工後の穴にクリップナットを差し込みます。



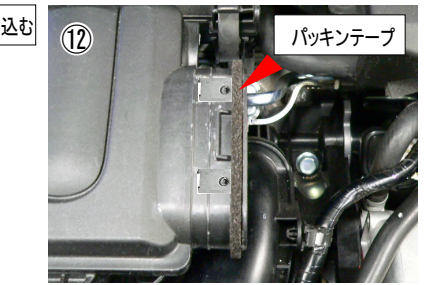
⑨ 図を参照にボンネットロックステーに装着されている、保護チューブを移動し作業完了です。



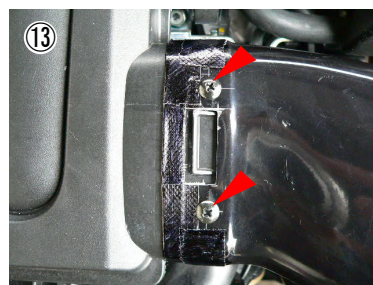
⑩ 隙間から手でフィルタートップ部を押さえながら、チャンバーケースを車輻に取り付けます。



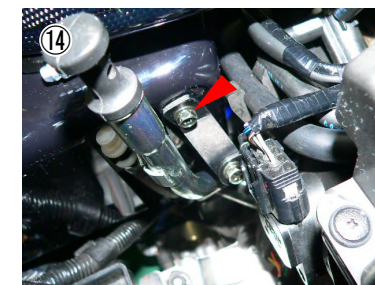
⑪ チャンバーケース接続部の穴位置にマーキングし、ノーマルクリーナーケースに3mmの穴開加工をします。穴開加工後の穴にクリップナットを差し込みます。



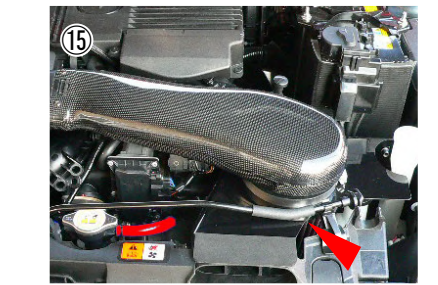
⑫ 図を参照にボンネットロックステーに装着されている、保護チューブを移動し作業完了です。



⑬ チャンバーケースをノーマルクリーナーケースに差し込み、M4黒タッピングで固定します。



⑭ 手順⑦、⑧で取り付けしたステーとフィルターケースをビスAで固定します。



⑮ 図を参照にボンネットロックステーに装着されている、保護チューブを移動し作業完了です。